

2019年度事業報告書

自 2019年4月 1日

至 2020年3月31日

一般財団法人社会変革推進財団

目 次

第1. 法人概要

| | |
|---------------------|---|
| 1. 設立年月日 | 1 |
| 2. 合併及び法人名称変更に関する事項 | 1 |
| 3. 定款に定める目的 | 1 |
| 4. 定款に定める事業内容 | 1 |
| 5. 主たる事務所 | 1 |
| 6. 役員等に関する事項 | 1 |
| 7. 専門委員等に関する事項 | 2 |
| 8. 職員に関する事項 | 3 |
| 9. 許認可に関する事項 | 3 |

第2. 管理業務

| | |
|----------|---|
| 1. 理事会 | 3 |
| 2. 評議員会 | 6 |
| 3. 専門委員会 | 7 |
| 3. 事務局 | 8 |

第3. 事業の状況

| | |
|--|----|
| I. 事業の実施内容及び成果 | 8 |
| 1. インパクト投資事業 | 8 |
| 2. 成果連動型民間委託（PFS）/ソーシャルインパクトボンド（SIB）組成事業 | 9 |
| 3. 進化するフィランソロピー事業 | 11 |
| 4. 次世代型資源循環の仕組み作り（オルタナティブ） | 11 |
| 5. 社会的インパクト評価およびインパクト・マネジメント | 12 |
| 6. その他（テーマ横断型プロジェクト） | 12 |
| II. 収支及び正味財産増減の状況 | 13 |
| III. 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実 | 13 |

2019年度事業報告書

第1. 法人概要

1. 設立年月日：2018年9月20日

2. 合併および法人名変更に関する事項

一般財団法人社会変革推進機構は、2019年10月1日付で同財団を存続法人として、一般財団法人社会的投資推進財団を吸収合併し、同時に法人名称を一般財団法人社会変革推進財団に変更した。

3. 定款に定める目的

この法人は、世界の急速な変化の中で直面する多種多様な社会課題に対して、自律的・持続的な解決と多様な価値創造が起こる包摂的な社会の実現のため、社会的・経済的資源循環の仕組みを構築し、社会における大きな変革（ソーシャルイノベーション）の実現に寄与することを目的とする。

4. 定款に定める事業内容

- (1)この法人の目的に寄与する組織及び事業の実施に必要な資金提供について、出資・融資・助成又は保証等の新たな資金提供手法の開発及び実践
- (2)この法人の目的に寄与する事業及び組織及び事業の成長に必要な経営支援を行うこと。
- (3)この法人の目的の促進に関する調査及び研究を行うこと。
- (4)この法人の目的の促進に資するための啓発活動及び広報活動を行うこと。

5. 主たる事務所

東京都港区赤坂1丁目11-28 M-City赤坂一丁目ビル 6F
TEL：03-6229-2622

6. 役員（理事・監事）及び評議員に関する事項

(1)役員

| 役職 | 氏名 | 常勤・非常勤 | 担当職務・現職 |
|-------|-------|--------|-------------------|
| 理事長* | 坂東真理子 | 非常勤 | 全体総括・昭和女子大学理事長・総長 |
| 専務理事* | 青柳光昌 | 常勤 | 全体総括・事業統括 |
| 常務理事 | 工藤七子 | 常勤 | 事業統括 |
| 〃 | 高石良伸 | 常勤 | 管理統括 |
| 理事 | 岡本拓也 | 非常勤 | 千年建設 代表取締役社長 |
| 〃 | 金田修 | 非常勤 | 游仁堂（ヨウレンドウ）CEO |
| 〃 | 永田俊一 | 非常勤 | 三菱UFJ信託銀行信託博物館長 |

| | | | |
|----|--------|-----|---------------------------|
| 監事 | 五十嵐裕美子 | 非常勤 | 五十嵐綜合法律事務所 弁護士 |
| 〃 | 須永 明美 | 非常勤 | (株)丸の内ビジネスコンサルティング代表取締役社長 |

* 代表理事

(2) 評議員

| 氏名 | 職業 |
|-------|------------------------------|
| 磯崎 功典 | |
| 大田 弘子 | 政策研究大学院大学特別教授、日本生産性本部副会長 |
| 尾形 武寿 | 日本財団 理事長 |
| 川本 裕子 | 早稲田大学大学院 教授 |
| 北川 正恭 | 早稲田大学 名誉教授、早稲田大学マニフェスト研究所 顧問 |
| 柴田 弘之 | 信金中央金庫理事長 |
| 杉田 亮毅 | 日本経済新聞社参与／日本経済研究センター参与 |
| 高木 剛 | 日本労働組合総連合会顧問 |
| 高橋 陽子 | 公益社団法人日本フィランソロピー協会 理事長 |
| 田中 明彦 | 政策研究大学院大学長 |
| 樽見 弘紀 | 北海学園大学法学部教授 |
| 丹呉 泰健 | 日本たばこ産業株式会社取締役会長、元財務事務次官 |
| 中江 有里 | 女優、作家 |
| 二橋 正弘 | 自治総合センター会長、元内閣官房副長官 |
| 堀内 勉 | 多摩大学 社会的投資研究所 副所長・教授、元森ビルCFO |

7. 専門委員等に関する事項

(1) 投資選定委員

| 氏名 | 職業 |
|-------|--|
| 白石 智哉 | 一般社団法人ソーシャル・インベストメント・パートナーズ (SIP) 理事 フロネシス・パートナーズ株式会社 代表取締役 CEO/CIO |
| 太田 直樹 | 株式会社 New Stories 代表取締役 株式会社海外通信・放送・郵便事業支援機構 社外取締役 総務省アドバイザー |

(2) 専門家アドバイザー (投資選定アドバイザー)

| 氏名 | 職業 |
|----------|-------------------------------|
| 湯浅 エムレ秀和 | 株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ ディレクター |

8. 職員に関する事項

職員数：合計19名

常勤 17名、非常勤 1名、出向 1名

9. 許認可に関する事項

| 登記事項 | 件数 |
|-------------|----|
| (1) 合併登記 | 1件 |
| (2) 事務所移転登記 | 2件 |

第2.管理業務

1. 理事会

本年度における理事会は、次の通り第3回から第11回まで計9回開催した。

(ア) 第3回理事会

開催日時：2019年4月23日（火）午後1時30分

開催場所：日本財団ビル

審議事項：

第1号議案 2018年度事業報告及び決算に関する件

第2号議案 基本財産の決定に関する件

第3号議案 専務理事の選定に関する件

第4号議案 専務理事の報酬額の決定に関する件

第5号議案 2019年度事業計画及び予算の変更に関する件

第6号議案 規程類の制定、改正及び廃止に関する件

第7号議案 評議員会の招集の決定に関する件

報告事項：

報告事項1 日本財団への助成申請結果報告に関する件

報告事項2 当法人のホームページ開設に関する件

報告事項3 エグゼクティブアドバイザー委嘱に関する件

報告事項4 当法人の今後の運営に関する件

(イ) 第4回理事会

開催日時：2019年7月30日（火）午後1時30分

開催場所：赤坂アビタシオンビル

審議事項：

第1号議案 合併に関する件

第2号議案 評議員会の招集の決定に関する件

報告事項

報告事項1 職員の退職、異動に関する件

- 報告事項 2 月次決算に関する件
- 報告事項 3 2019年度資金分配団体申請に関する件
- 報告事項 4 研修プログラム成果に関する件
- 報告事項 5 事務所移転、賃貸借契約に関する件

(ウ) 第5回理事会

開催日時：2019年10月7日（月）午後1時30分

開催場所：日本財団ビル

審議事項:

- 第1号議案 業務執行理事の選定に関する件
- 第2号議案 常勤役員の報酬額の決定に関する件
- 第3号議案 基本財産の変更に関する件
- 第4号議案 重要な使用人の雇用に関する件
- 第5号議案 新組織体制に関する件
- 第6号議案 2019年度事業計画及び収支予算の修正に関する件
- 第7号議案 2020年度事業計画及び収支予算の承認並びに日本財団への助成金申請に関する件
- 第8号議案 主たる事務所の変更登記に関する件
- 第9号議案 主たる事務所移転に関する賃貸契約の件
- 第10号議案 規程類の変更に関する件
- 第11号議案 新生銀行グループと共同で組成し、当法人も組合員である「日本インパクト投資2号有限責任事業組合」の職務執行者選任の件
- 第12号議案 株式会社デジサーチアンドアドバイザーズと共同で設立した「アップサイドSIB有限責任事業組合」の職務執行者選任の件

報告事項

- 報告事項 1 定款及び規程類の変更に関する件
- 報告事項 2 職員雇用（移籍・出向）に関する件
- 報告事項 3 ガイドライン制定に関する件
- 報告事項 4 商標登録に関する件
- 報告事項 5 理事辞任に関する件
- 報告事項 6 監事辞任に関する件
- 報告事項 7 月次収支に関する件
- 報告事項 8 事業報告に関する件
- 報告事項 9 「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」（休眠預金等活用法）に基づく2019年度資金分配団体決定の件

(エ) 第6回理事会（決議の省略）

理事会の報告・決議があったものとみなされた事項の内容：

- 第1号議案 事務所移転に伴う什器備品等購入のための契約締結の件

理事会の報告・決議があったものとみなされた事項を提案した理事：高石良伸
理事会の報告・決議があったものとみなされた日：2019年11月22日

(オ) 第7回理事会

開催日時：2019年11月29日（金）午前10時00分

開催場所：赤坂アビタシオンビル

審議事項：

第1号議案 株式会社アドレスへの出資の件

第2号議案 新生銀行グループと共同で運営する日本インパクト投資2号投資事業有限責任組合へのLP追加出資の件

第3号議案 弁護士 六田文秀氏のコンプライアンス委員会委員選任の件

第4号議案 主たる事務所の変更登記に関する件

報告事項：

報告事項1 2020年度日本財団への助成金申請に関する件

報告事項2 「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」（休眠預金等活用法）に基づく2019年度資金分配団に関する進捗報告の件

報告事項3 職員の退職に関する件

報告事項4 随意契約の件

(カ) 第8回理事会

開催日時：2019年12月25日（水）午後3時00分

開催場所：M-City赤坂一丁目ビル 6F

審議事項：

第1号議案 安間匡明氏へのエグゼクティブアドバイザー委嘱の件

第2号議案 社会的インパクト・マネジメントイニシアチブの運営業務にかかる業務委託に関する件

報告事項：

報告事項1 ハルキゲニアラボ事業に関する件

報告事項2 人事考課制度導入に関する件

報告事項3 随意契約に関する件

報告事項4 総務管掌理事務報告の件

(キ) 第9回理事会

開催日時：2020年1月20日（月）午後3時00分

開催場所：M-City赤坂一丁目ビル 6F

審議事項：なし

報告事項：

報告事項1 休眠預金PJの今後の対応に関する件

報告事項 2 職員人事異動に関する件

(ク) 第10回理事会

開催日時：2020年2月26日（水）午後3時30分

開催場所：M-City赤坂一丁目ビル 6F

審議事項:

第1号議案 ハルキゲニアラボ事業における支援先との助成契約締結の件

第2号議案 休眠預金プロジェクトに関する件

第3号議案 休眠預金プロジェクトにおける方針決定の件

第4号議案 太田直樹氏への投資選定委員委嘱の件

第5号議案 規程類の制定に関する件

報告事項:

報告事項 1 2020年度事業予算（案）の件

報告事項 2 随意契約に関する件

(ケ) 第11回理事会

開催日時：2020年3月24日（火）午後1時00分

開催場所：M-City赤坂一丁目ビル 6F

審議事項：

第1号議案 ハルキゲニアラボ事業における支援先との助成契約締結の件

第2号議案 休眠預金プロジェクトに関する意見書提出の件

第3号議案 休眠預金プロジェクトにおける公募要項及び助成による公募実施の件

第4号議案 2020年度事業計画及び収支予算の変更に関する件

第5号議案 投資選定委員会規程の改訂に関する件

第6号議案 各種契約締結に関する件

報告事項：

報告事項 1 2019年度事業報告及び日本財団への助成金報告に関する件

報告事項 2 2月度理事会審議事項条件付決議に関する報告の件

報告事項 3 随意契約に関する件

2. 評議員会

本年度における評議員会は、次の通り計2回開催した。

(ア) 第2回評議員会

開催日時：2019年4月23日（火）午後3時00分

開催場所：日本財団ビル

審議事項：

審議事項 1 2018年度事業報告及び決算に関する件

審議事項 2 定款の変更に関する件

審議事項 3 規程類の変更に関する件

報告事項：

報告事項 1 「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」に基づく指定活用団体の公募に係る申請結果に関する件

報告事項 2 日本財団への助成金申請結果報告に関する件

報告事項 3 2019年度事業計画及び予算の変更に関する件

報告事項 4 当法人の今後の運営に関する件

(イ) 第3回評議員会

開催日時：2019年9月20日（金）午前9時30分

開催場所：日本財団ビル

審議事項：

審議事項 1 合併に関する件

審議事項 2 定款の変更に関する件

審議事項 3 規程類の変更に関する件

審議事項 4 評議員の選任に関する件

審議事項 5 理事の選任に関する件

審議事項 6 監事の選任に関する件

報告事項：

報告事項 1 新組織体制に関する件

報告事項 2 事業計画に関する件

報告事項 3 合算予算に関する件

報告事項 4 理事辞任に関する件

報告事項 5 監事辞任に関する件

報告事項 6 規程類変更に関する件

報告事項 7 事務所移転に関する件

3. 専門委員会

本年度における専門委員会は、次の通り1回開催した。

(ア) 投資選定委員会

開催日時：2019年11月28日（木）午後4時

開催場所：日本財団ビル

審議事項：

審議事項 1 株式会社アドレスへの出資の件

報告事項：

報告事項 1 休眠預金事業に関する事前説明の件

4. 事務局

2020年3月31日現在における事務局の機構は、コンプライアンス室、総務部、事業本部の2部1室で構成されている。

第3. 事業の状況

I. 事業の実施内容及び成果

1. インパクト投資事業

「社会的投資元年」と言われる2017年から、インパクト投資市場は、世界・日本共に、目覚ましい成長を続けている（世界の市場規模推計5,020億ドル2019年。GSG国内諮問委員会の調査で確認された日本の残高4,480億円2019年）。国内では資産運用会社、機関投資家、地域金融機関と、市場参加者のすそ野が広がっている。また、2019年6月に開催された「G20大阪サミット」の安倍総理のスピーチでは、インパクト投資に対する政府の理解と期待が確認された。このような追い風の中、2019年度は、主に金融機関と共同で組成したファンドの本格的始動と、制度の設計段階から関わってきた休眠預金の活用等を通じたインパクト投資モデルの組成に取り組んだ。

(1) 実施内容

(ア)モデル事業の組成・出資

① 新生銀行グループと、「子育て・介護・新しい働き方関連事業」を投資対象とする日本インパクト投資2号ファンドを共同設立し、運営を開始した。さらにSIIFから本ファンドにLP出資を行った。その他の投資家からの資金調達（26億円）獲得への協力、出資先選定と資金提供（出資先2件）、社会的インパクト・マネジメントの実施（出資先2件）、投資家向けインパクト・レポートの発行を行った。新生企業投資（株）は、「東京都金融賞2019-ESG投資部門」を受賞した。

② (株) デジサーチアドバタイジングと共同で、シングルマザー起業家等を支援するファンドへ出資し、社会的インパクト・マネジメントの設計を行った。

③ 休眠預金等活用法における資金分配団体に選定され、地域活性化ソーシャルビジネス成長支援事業を開始した。これは、地域で活用されていない様々な資源を再活性化し活用することで、地域社会の核となるソーシャルビジネスを形成することを目指すものである。具体的には、資金提供先の公募、検討、インパクト・マネジメントを地域に根付かせ実践される仕組みをつくるための信金中央金庫とのパートナー協定を実現した。

(イ)既存の出資先のモニタリング

① 出資先であるヘルスケアニューフロンティアファンドに対し、本ファンドの出資先ベンチャーへの社会的インパクト・マネジメントを実施、支援し、インパクト・レポートを発行した。

② 出資先である、地域におけるインパクト投資の仕組み作りを行う中間支援組織、プラスソーシャルインベストメント（株）への支援を引き続き行った。

(ウ)インパクト投資国際組織(GSG)、および、GSG国内諮問委員会の運営

① インパクト投資普及のための国際組織、GSG（Global Steering Group for Impact Investment）の会合・総会への参加を通じて、連携の強化を図った。

② GSG国内諮問委員会の企画・運営を通じて、調査・研究、周知・啓発活動を行った。

A)調査・研究としては、日本のインパクト投資の市場規模やプレイヤーなどを調査した「インパクト投資市場の現状レポート2019」の発行、社会的企業の成長を支えるための資本市場の役割に関する提言をまとめた「社会的インパクト時代の資本市場のあり方」の発行、「インパクト投資の拡大に向けた提言書2019・キービジュアル」の発行、インパクト投資の推進に資する評価ツールと認証制度を検証する「社会性認証実証プロジェクト」の実施を行った。

B)周知・啓発としては、「インパクト投資フォーラム2019」を実施。約250名の金融関係者、営利・非営利事業者、シンクタンク関係者などに対し、国内外のインパクト投資の最新情報を提供すると共に、インパクト投資発展のための課題等について議論する場を提供した。

（2）事業開始時の事業目標と成果

（ア）インパクト投資案件4-5件に共同出資⇒以下、2件への共同出資を達成。件数は未達ではあるが、①のファンド規模は26億円と国内最大のインパクト・ファンドとなった。

① 日本インパクト投資2号ファンド

② （株）デジサーチアドバタイジングと組成するファンド

（イ）インパクト投資案件2件程度を組成⇒上記2件の案件組成を達成

（ウ）共同出資者4社（者）以上⇒以下2件の投資案件で計6社以上を達成

① 日本インパクト投資2号ファンド：5社以上

② （株）デジサーチアドバタイジングと組成するファンド：1社

（エ）資金レバレッジ2倍以上⇒上記2件の投資案件共に達成

（オ）GSG国内諮問委員会：1-2件の政策提言⇒G20におけるインパクト投資の推進、「社会的インパクト投資拡大に向けた提言書2019」における8つの提言を実施し達成

（カ）GSG国内諮問委員会：関係者からの新規のインパクト投資事例3件以上⇒5件以上で達成

（キ）GSG国内諮問委員会：数百人を集客するイベントを開催⇒インパクト投資フォーラム2019開催（9/6）にて達成。250名の金融機関、ファンドマネージャー、政府関係者が参加

2. 成果連動型民間委託（PFS）/ソーシャルインパクトボンド（SIB）組成事業

PFS及びSIBは、世界各国で取組みの拡大がみられ、2019年8月時点で25か国137件が成立している。日本においても取組みは増加しており、2017年に当財団が日本初のSIB案件を組成してから、2019年8月時点で導入数は約20件に達しており、うち8件に対し当財団が資金支援を行っている。さらに、政府はPFSおよびSIBの推進を本格化しており、2019年の「経済財政運営と改革の基本方針」「成長戦略」においても注力する政策として明確に位置づけると共に、各省庁を通じた推進を取り纏めるために内閣府に専門部隊となる成果連動型事業推進室（以下、内閣府推進室）を設置した。当財団は、内閣府推進室からの要請もあり、さらに連携

を取りながら、PFSおよびSIB推進の政策立案に協力をしている。

2019年度は、岡山市および豊中市の自治体主導案件の組成支援と出資を行った他、厚労省のモデル事業に投資家として参画した。また、厚生労働省等、省庁による調査研究事業やモデル事業の枠組みを活用し、モデルの精緻化と政策構築に貢献した。当財団は、法務省がみずほ情報総研株式会社へ依頼した再犯防止活動におけるSIBの案件組成のための調査研究におけるコンサルティング業務において協力を行なった。

(1) 実施内容

(ア)投資済案件のモニタリング

- ① 2017年に日本初のSIBとして開始した神戸市の「糖尿病性腎症等重症化予防」事業のモニタリングを実施した。
- ② 同じく2017年に出資を実行した八王子市の「大腸がん検診受診率向上SIB」についても2019年8月の事業終了期間までモニタリングを実施した。

(イ)SIB事業への出資・融資・保証等を通じた資金提供

- ① 岡山市のSIBを活用した、健康ポイント事業の案件組成を支援すると同時に同案件に出資。
- ② 豊中市のSIBを活用した、世界初の禁煙支援事業の案件組成を支援すると同時に同案件に出資。共同出資者として第一生命保険株式会社と京都信用金庫が参画したことで日本初の機関投資家が出資者として参画するSIB案件となった。また、融資提供者として三井住友銀行が参画する他、三井住友信託銀行や弊財団の出資先でもあるプラスソーシャルインベストメント株式会社と共にSIBの新たなモデル案件を構築できた。

(ウ)SIBに関する中央省庁への協力

- ① 法務省が進める再犯防止活動におけるSIBの案件においてみずほ情報総研株式会社へ協力。
- ② 2017年の「未来投資戦略」において政府がSIBや成果連動型事業の後押しをすることが言及されたのを受けて有識者として具体的な施策の検討に参画。2019年11月の未来投資会議 構造改革徹底推進会合PPP/PFIに参加。

(2) 事業開始前の事業目標と成果

(ア)SIB案件4-5件に共同出資⇒岡山市案件、豊中市案件の2件に出資。

(イ)SIB案件1-2件程度を組成⇒岡山市、豊中市SIBの2件の案件組成を主体的に支援し目標達成。

(ウ)共同出資者4社（者）以上⇒岡山市の案件では地元企業を中心に20以上、豊中市案件では第一生命保険株式会社、京都信用金庫が共同出資者として参画し達成。厚労省モデル事業では多摩市を除き単独出資となった。

(エ)資金レバレッジ2倍以上⇒豊中市案件で達成。また、岡山市案件では多数の共同出資者を呼び込むことに成功し7倍以上の資金レバレッジを達成。

(オ)国でのアウトカムファンド等SIB案件組成支援の制度化⇒継続対応中

3. 進化するフィランソロピー事業

「進化するフィランソロピー」とは、従来のフィランソロピーにおける経験と実績をもとに、社会的インパクト創出の規模と深さ、持続性を向上させるための実験的な取組みを指す。例えば、海外においては、財団等のフィランソロピーセクターによる触媒型資本が呼び水となり、政府・金融機関・企業等のセクターを超えた連携によって、より大規模な社会的インパクト創出を目指す動きが強まっている。

2019年度は、日本ベンチャーフィランソロピー基金（JVPF）への運営協力を継続すると共に、日本財団との協働事業の検討を行った。

（1）実施内容

（ア）基金の運営協力

① 日本ベンチャーフィランソロピー基金（JVPF）の共同運営を継続して行った。支援先のモニタリング実施に協力し（6社）、寄付者管理における支援を行った。

（イ）新規モデルの検討・開発

① 日本財団との協働事業として、海洋分野等におけるインパクト投資・助成の調査・検討を開始した。引き続き、2020年度の事業を目指して検討を続ける。

② 個人富裕層向けフィランソロピー事業の調査・検討を開始した。米国でのフィランソロピー現況視察のため、14のフィランソロピー・アドバイザー、財団、インパクト・ファンド事業者等を訪問した。インパクトを重視し、かつ、投資から寄付まで、様々なリスク許容度で資金提供を行うフィランソロピストが多数存在すること、また、彼らを支えるエコシステムが存在することが確認された。

（2）事業開始前の事業目標と成果

（ア）成果目標の設定はなし

4. 次世代型資源循環の仕組み作り（オルタナティブ）

「次世代型資源循環の仕組み作り（オルタナティブ）」とは、従来型の経済資本では価値化されにくい社会資本、自然資本、文化資本、人的資本、感情資本等を価値化する事業モデルや仕組み作りを指す。2019年度は、当財団にとっての新しい試みとして、地域における新たな資源循環の仕組みをつくる、複数のモデル事業の開発に取り組んだ。

（1）実施内容

（ア）新規モデルの検討・開発・実施

① 地域の新たな資源循環を創出する、他拠点ライフプラットフォーム「ADDRESS」を展開する、株式会社アドレスへの出資を実施した。

② 地域の新たな資源循環を創出する人材・組織支援プログラム（以下、「ハルキゲニアラボ」）を設計し、開始した。

（2）事業開始時の事業目標と成果

(ア) 1-2件程度の支援先の決定と伴走支援着手⇒以下のプロジェクトで達成

- ① 株式会社アドレスへの出資
- ② ハルキゲニアラボ：支援先4社を決定。伴走支援に着手

5. 社会的インパクト評価およびインパクト・マネジメント

近年、インパクト投資への取組みが進む中で、創出される社会的インパクトの質を高めていくために、社会的インパクト評価およびインパクト・マネジメントが必須であるという共通認識が急速に広がっている。当財団は、日本におけるインパクト投資およびインパクト志向のフィランソロピーの普及を目指す組織として、その必要条件となるインパクト・マネジメントの実践、ナレッジ開発、ノウハウ育成等に取り組む。

(1) 実施内容

(ア)社会的インパクト・マネジメントイニシアチブ (SIMI) の事務局運営、および同イニシアチブ作成のロードマップ、アクションプランの実行

- ① 新規4分野（スポーツ、ヘルスケア、ソーシャル・キャピタル、ホームレス支援）の評価ツールセットを公開した。

(イ)イベント実施の支援

- ① 「全体会合」計2回（2019/06, 2020/02）：加盟20団体が参加。各ワーキンググループの事業報告や事業計画を発表した。
- ② 「Social Impact Day 2019」（2019/7）：民間企業、NPO、資金提供者、評価専門家等200名以上が参加した。社会的インパクト・マネジメントの最新動向を共有した。
- ③ 「インパクトマネジメントセミナー」計2回（2019/9, 2020/3）：NPO編にはNPO関係者約100名が参加。資金提供者向けには金融機関など20名が参加。インパクト・マネジメントの事例等を紹介した。
- ④ 「RCT勉強会」：NPO関係者約40名が参加。オンラインも活用。

(2) 事業開始時の事業目標と成果

(ア)成果目標の設定はなし

6. その他（テーマ横断型プロジェクト）

上記以外で、各プロジェクトに対し、あるいは、組織全体に対し、専門的見地から事業支援を行った。

(1) 実施内容

(ア)調査研究：テーマ横断型調査研究の実施

- ① 「社会的インパクト投資」に対する国内初の消費者認知度調査を実施した。その結果、「社会的インパクト投資」の認知度は全体の6.8%であり、投資経験者の方が高い認知度であることが分かった。属性は20代、30代のミレニアル世代の認知度が高く、世帯年収が高いほど認知度が高いことが判明した（約2,000人に対するインターネット調査）。

(イ)広報：組織に関する発行物、事業に関するプレスリリース、ブログの発信等

- ① SIIFアニュアルレポート2018を発行した
- ② プレスリリース10本を発信した
- ③ ブログ（note）22本を発信した

(2) 事業開始時の成果目標と成果

(ア)成果目標の設定はなし

II. 収支及び正味財産増減の状況

2019年度財務諸表参照

III. 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

該当なし

以上

【成果物・参考資料】

- ①社会課題解決に向けたベンチャー支援・育成インフラとしての日本インパクト投資2号ファンドを設立：プレスリリース（1-（1）-（ア）-①）
http://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2019/06/190628_impact2_j.pdf
- ②日本インパクト投資2号ファンドによるユニファ株式会社への投資について：プレスリリース（1-（1）-（ア）-①）
http://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2019/10/SIIF_日本インパクト投資2号ファンドによるユニファ株式会社への投資について_20190927.pdf
- ③日本インパクト投資2号ファンドによるライフイズテックへの投資について：プレスリリース（1-（1）-（ア）-①）
http://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2019/11/SIIF-media-advisory_-impact-fund.pdf
- ④信金中央金庫との連携による休眠預金を活用する制度にかかる取組みについて：プレスリリース（1-（1）-（ア）-③）
http://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2020/02/SIIF_信金中金_休眠預金を活用制度にかかる取組みについて.pdf
- ⑤休眠預金等活用法に基づく実行団体の公募開始について（1-（1）-（ア）-③）
<http://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2020/03/休眠預金等活用制度における実行団体公募開始のお知らせ.pdf>
- ⑥ヘルスケアニューフロンティアファンド、インパクト・レポート（1-（1）-（イ）-①）
http://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2019/09/HNF_社会的インパクト評価レポート.pdf
- ⑦社会的投資推進財団、キャピタルメディカ・ベンチャーズ、国内初、ヘルスケア分野に特化したベンチャーキャピタルによるインパクト・レポート発行：プレスリリース（1-（1）-（イ）-①）
<http://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2019/09/【SIIF】社会的インパクト評価レポート.pdf>
- ⑧GSG国内諮問委員会：日本における社会的インパクト投資の現状2019（1-（1）-（ウ）-②）
<http://impactinvestment.jp/doc/gsg-2019.pdf>
- ⑨GSG国内諮問委員会：日本における社会的インパクト投資の現状2019：プレスリリース（1-（1）-（ウ）-②）
- ⑩GSG国内諮問委員会：インパクト時代の資本市場のあり方（1-（1）-（ウ）-②）
http://impactinvestment.jp/images/impactinvestment_capitalmarket.pdf
- ⑪GSG国内諮問委員会：インパクト時代の資本市場のあり方：プレスリリース（1-（1）-（ウ）-②）
- ⑫インパクト投資の拡大に向けた提言書2019・キービジュアル（1-（1）-（ウ）-②）
http://impactinvestment.jp/doc/impact_investment_report_2019_key.pdf
- ⑬インパクト投資の拡大に向けた提言書2019・キービジュアル：プレスリリース（1-（1）-（ウ）-②）
- ⑭GSG国内諮問委員会：インパクト投資フォーラム2019報告書（1-（1）-（ウ）-②）
<http://impactinvestment.jp/doc/SdA85v2HsKDNuTT.pdf>

- ⑮「世界初の禁煙ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）」キュアアップ、豊中市、社会的投資推進財団、三井住友銀行、SMBC信託銀行が契約締結：プレスリリース（2 - (1) - (イ) - ②）
<http://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2019/09/世界初の禁煙ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）.pdf>
- ⑯他拠点ライブプラットフォーム「ADDress」を展開する株式会社アドレスへの出資について：プレスリリース（4 - (1) - (ア) - ①）
http://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2020/01/20200131-press-release_SIIFアドレスに出資_.pdf
- ⑰新しい資源循環の仕組みづくりを研究開発するシードアクセラレータープログラム「ハルキゲニアラボ」を開始：プレスリリース（4 - (1) - (ア) - ②）
<http://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2020/04/20200409-ハルキゲニアラボ開始-3.pdf>
- ⑱Social Impact Day 報告書（5 - (1) - (イ) - ②）
<https://www.impactmeasurement.jp/info/1036>
- ⑲「社会的インパクト投資」における国内初の実態調査：リーフレット（6 - (1) - (ア) - ①）
<http://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2019/10/社会的インパクト投資について.pdf>
- ⑳「社会的インパクト投資」における国内初の実態調査：プレスリリース（6 - (1) - (ア) - ①）
<http://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2019/10/【プレスリリース】証券投資の日（10月4日）国内初「社会的インパクト投資」調査結果.pdf>
<http://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2019/10/社会的インパクト投資に関する一般消費者意識調査.pdf>
- ㉑ 社会的投資推進財団アニュアルレポート2018（6 - (1) - (イ) - ①）
http://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2019/07/SIIF_annual_report_2018.pdf